

令和3年度 上半期
四国中央市水道事業
業務状況説明書

令和3年 4月 1日から

令和3年 9月30日まで

四国中央市水道局

目 次

令和3年度上半期（令和3年4月1日～令和3年9月30日）の 業務の状況

1	事業の概況	1
2	経理の状況	1
	予算の執行状況	1
	(1) 収益的収入及び支出	1
	(2) 資本的収入及び支出	1

前年度の決算の状況

3	令和2年度四国中央市水道事業会計決算の状況	2
	(1) 概要	2
	(2) 決算報告書	4
	(3) 損益計算書	8
	(4) 剰余金計算書	9
	(5) 貸借対照表	10
	(6) 決算に関する注記	12

1 事業の概況

給水件数	44,127件	(令和3年9月30日現在)
上半期総給水量	5,578,753 m ³	(令和3年度上半期)
1日平均給水量	30,485 m ³	(令和3年度上半期)

2 経理の状況

予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	上半期執行額 (B) 円	執行率 (B/A) %
営業収益	1,955,196,000	993,877,010	50.8
うち給水収益	1,928,850,000	975,545,510	50.6
営業外収益	346,274,000	31,089,462	9.0
特別利益	30,000	0	0.0
収入合計	2,301,500,000	1,024,966,472	44.5
営業費用	2,010,773,000	465,871,335	23.2
営業外費用	227,168,000	74,767,332	32.9
特別損失	480,000	5,040	1.1
予備費	4,579,000	0	0.0
支出合計	2,243,000,000	540,643,707	24.1

(2) 資本的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	上半期執行額 (B) 円	執行率 (B/A) %
補助金	71,486,000	0	0.0
企業債	680,000,000	0	0.0
負担金	283,594,000	141,156,670	49.8
工事負担金	6,344,000	0	0.0
固定資産売却代金	1,176,000	0	0.0
収入合計	1,042,600,000	141,156,670	13.5
建設改良費	1,113,381,000	871,638,301	78.3
企業債償還金	678,220,000	336,901,609	49.7
負担金	1,560,000	771,570	49.5
予備費	5,739,000	0	0.0
支出合計	1,798,900,000	1,209,311,480	67.2

3 令和2年度四国中央市水道事業会計決算の状況

(1) 概要

水道事業会計は、令和2年度より簡易水道事業会計及び簡易水道事業特別会計と経営統合を図りました。それにより収入及び支出額が増加しております。

経営状況につきましては、給水人口の減少や節水意識の向上により年々減少傾向にあった水道使用量が、令和2年度はコロナの影響により業務用等が減少しましたが、外出自粛に伴うステイホームによる在宅時間の増加や手洗い・うがいなど感染予防対策が徹底されたことにより、家庭用に伸びがみられ全体として令和元年度より増となりました。水道料金については、コロナの影響により経営が悪化した事業所店舗等に対し水道料金の減額事業を実施したことにより収入が減少しましたが、使用水量の伸びに支えられ令和元年度とほぼ同額となりました。また、支出につきましては、令和元年度に完了した中田井浄水場等施設にかかる減価償却費が大幅増となりましたが、令和2年度も水資源機構富郷ダム立替債残債務の一部について繰上償還し、将来の利子負担の軽減を図るなど経費削減に努めた結果、139,651,774円の純利益を計上することが出来ました。

建設改良事業については、国庫補助事業として老朽管更新事業及び遠隔監視システムの整備による管理業務の効率化に取り組みました。

○給水状況について

給水人口	83,366人
普及率	97.91%
給水率	98.36%
年間総配水量	11,443,018 m ³
年間総有収水量	9,938,401 m ³
有収率	86.85%
供給単価 1 m ³ 当り	178円59銭
給水原価 1 m ³ 当り	174円61銭

○経営状況について

収益的収支

収入額	2,352,572,930円	(税込)
	2,168,178,668円	(税抜)
(前年度比*	63,602,517円増)	(税抜)

支出額	2,153,230,214 円	(税込)
	2,028,526,894 円	(税抜)
(前年度比*	41,408,800 円増)	(税抜)

純利益 139,651,774 円 (税抜)

(*前年度比については令和元年度簡易水道事業会計決算値を含んで算出している。)

資本的収支

収入額	916,828,439 円	(税込)
支出額	1,721,116,928 円	(税込)
不足額	804,288,489 円	(税込)

資本的収入額が支出額に対し不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 59,335,217 円、減債積立金 117,458,057 円、建設改良積立金 651,402 円及び過年度分損益勘定留保資金 626,843,813 円で補填しました。

○建設事業について

令和2年度は56件の建設改良事業を実施しました。主なものは次のとおりです。

- ・国庫補助事業
 - 中田井配水池系耐震配水本管布設工事 (第15工区)
 - 土居地域遠隔監視システム整備工事 他
- ・施設改良工事
 - 若宮橋水管橋架設工事
- ・委託業務
 - 土居地域電気計装設備更新設計業務

現在実施中の管路更新事業の他にも、場外施設の多くが更新の時期を迎えており、今後これら施設の更新・再構築には相当な事業費を要する一方で、給水人口の減少等による料金収入の減少が見込まれており、本市水道事業を取り巻く環境は一層厳しい状況が続くものと想定されています。

国の新水道ビジョンに示された「安全」「強靱」「持続」の視点のもと、令和2年度新たに策定した「四国中央市水道事業ビジョン」により本市水道事業の現状と課題を把握して今後の事業計画を立案し計画に沿った事業を進めつつ、中長期的な視野に立った設備投資を行い、引き続き持続可能な事業運営に取り組んでいきます。

(2) 決算報告書

令和2年度 四国中央

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定に係る支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第1款 水道事業収益	2,332,770,000	0	0
第1項 営業収益	1,979,616,000	△30,000,000	0
第2項 営業外収益	353,124,000	30,000,000	0
第3項 特別利益	30,000	0	0

支 出

区 分	予 算				
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費	流 用	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額
	円	円	円	円	円
第1款 水道事業費用	2,294,400,000	△14,448,000	0	0	0
第1項 営業費用	2,006,933,000	△14,455,000	0	0	0
第2項 営業外費用	281,815,000	7,000	0	0	0
第3項 特別損失	1,235,000	0	0	0	0
第4項 予備費	4,417,000	0	0	0	0

市 水 道 事 業 会 計 決 算 報 告 書

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計				
円	円	円	円	
2,332,770,000		2,352,572,930	19,802,930	仮受消費税及び 地方消費税
1,949,616,000		1,987,595,785	37,979,785	183,578,726
383,124,000		362,044,770	△21,079,230	
30,000		2,932,375	2,902,375	

額			決 算 額	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 第 2 項 の 規 定 に よ る 繰 越 額	不 用 額	備 考
小 計	地方公営企業 法第26条第2 項の規定による 繰越額	合 計				
円	円	円	円	円	円	
2,279,952,000	0	2,279,952,000	2,153,230,214	0	126,721,786	
1,992,478,000	0	1,992,478,000	1,919,008,629	0	73,469,371	仮払消費税及び 地方消費税
281,822,000	0	281,822,000	233,412,585	0	48,409,415	55,479,891
1,235,000	0	1,235,000	809,000	0	426,000	
4,417,000	0	4,417,000	0	0	4,417,000	

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款 資本的収入	823,400,000	0	823,400,000	220,169,000
第1項 補助金	111,103,000	0	111,103,000	20,169,000
第2項 企業債	427,400,000	0	427,400,000	200,000,000
第3項 負担金	278,724,000	0	278,724,000	0
第4項 工事負担金	5,500,000	0	5,500,000	0
第5項 固定資産売却代金	673,000	0	673,000	0

支 出

区 分	予 算 額				
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額
	円	円	円	円	円
第1款 資本的支出	1,592,400,000	8,000,000	0	1,600,400,000	232,600,000
第1項 建設改良費	742,958,000	8,000,000	0	750,958,000	232,600,000
第2項 企業債償還金	740,152,000	0	0	740,152,000	0
第3項 負担金	104,261,000	0	0	104,261,000	0
第4項 予備費	5,029,000	0	0	5,029,000	0

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額804,288,489円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整た。

額		合 計	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減	備 考
継続費通次繰越額に係る財源充当額					
円	円		円	円	
0	1,043,569,000		916,828,439	△126,740,561	
0	131,272,000		126,206,000	△5,066,000	仮受消費税及び地方消費税
0	627,400,000		507,000,000	△120,400,000	0
0	278,724,000		278,721,704	△2,296	
0	5,500,000		4,900,735	△599,265	
0	673,000		0	△673,000	

継続費通次繰越額	合 計	決 算 額	翌年度繰越額		不 用 額	備 考
			地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額		
円	円	円	円	円	円	
0	1,833,000,000	1,721,116,928	27,200,000	0	27,200,000	84,683,072
0	983,558,000	877,777,814	27,200,000	0	27,200,000	78,580,186
0	740,152,000	740,148,998	0	0	0	3,002
0	104,261,000	103,190,116	0	0	0	1,070,884
0	5,029,000	0	0	0	0	5,029,000

額59,335,217円、減債積立金117,458,057円、建設改良積立金651,402円及び過年度分損益勘定留保資金626,843,813円で補填し

(3) 損益計算書

令和 2 年度 四国中央市水道事業損益計算書
(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 給水収益	1,774,942,759		
(2) その他営業収益	<u>32,159,591</u>	1,807,102,350	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	394,797,738		
(2) 配水及び給水費	187,830,196		
(3) 総係費	192,303,606		
(4) 減価償却費	1,083,143,068		
(5) 資産減耗費	8,082,020		
(6) その他営業費用	<u>0</u>	<u>1,866,156,628</u>	
営業損失			59,054,278
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	980,911		
(2) 他会計負担金	59,454,161		
(3) 受託事務収益	28,996,480		
(4) 長期前受金戻入	266,193,333		
(5) 雑収益	<u>2,519,058</u>	358,143,943	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	134,595,967		
(2) 受託事務費	26,238,898		
(3) 雑支出	<u>730,401</u>	<u>161,565,266</u>	<u>196,578,677</u>
経常利益			137,524,399
5 特別利益			
(1) 固定資産売却益	0		
(2) 過年度損益修正益	0		
(3) その他特別利益	<u>2,932,375</u>	2,932,375	
6 特別損失			
(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	<u>805,000</u>	<u>805,000</u>	<u>2,127,375</u>
当年度純利益			139,651,774
前年度未処分利益剰余金			<u>0</u>
その他未処分利益 剰余金変動額			118,109,459
当年度未処分利益剰余金			<u><u>257,761,233</u></u>

(4) 剰余金計算書

令和2年度 四国中央市水道事業剰余金計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金	剰余金							資本合計
		資本剰余金			利益剰余金				
		受贈財産 評価額	その他 資本剰余金	資本剰余 金合計	減債 積立金	建設改良 積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余 金合計	
前年度末残高*	10,125,783,963	32,506,866	27,492,903	59,999,769	0	651,402	292,674,525	293,325,927	10,479,109,659
前年度処分額	175,216,468	0	0	0	117,458,057	0	△ 292,674,525	△ 175,216,468	0
議会の議決による処分額	175,216,468	0	0	0	117,458,057	0	△ 292,674,525	△ 175,216,468	0
減債積立金の積立て	0	0	0	0	117,458,057	0	△ 117,458,057	0	0
自己資本金への組入れ	175,216,468	0	0	0	0	0	△ 175,216,468	△ 175,216,468	0
処分後残高	10,301,000,431	32,506,866	27,492,903	59,999,769	117,458,057	651,402	(繰越利益剰余金) 0	118,109,459	10,479,109,659
当年度変動額	223,351,825	1,221,300	0	1,221,300	△ 117,458,057	△ 651,402	257,761,233	139,651,774	364,224,899
積立金の取崩	0	0	0	0	△ 117,458,057	△ 651,402	118,109,459	0	0
簡易水道事業特別会計 からの組入	223,351,825	0	0	0	0	0	0	0	223,351,825
資本剰余金の受入れ	0	1,221,300	0	1,221,300	0	0	0	0	1,221,300
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	139,651,774	139,651,774	139,651,774
当年度末残高	10,524,352,256	33,728,166	27,492,903	61,221,069	0	0	(当年度未処分利益剰余金) 257,761,233	257,761,233	10,843,334,558

*前年度末残高については令和元年度簡易水道事業会計決算額を含んでいる。

令和2年度 四国中央市水道事業剰余金処分計算書

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	10,524,352,256	61,221,069	0	257,761,233
議会の議決による処分額	118,109,459	0	139,651,774	△ 257,761,233
減債積立金の積立て	0	0	139,651,774	△ 139,651,774
自己資本金への組入れ	118,109,459	0	0	△ 118,109,459
条例による処分額	0	0	0	0
処分後残高	10,642,461,715	61,221,069	139,651,774	(繰越利益剰余金) 0

(5) 貸借対照表

令和 2 年度 四国中央市水道事業貸借対照表
(令和 3 年 3 月 31 日)

		資 産 の 部			
		円	円	円	円
1	固 定 資 産				
(1)	有形固定資産				
イ	土 地		976,776,204		
ロ	建 物	2,535,869,320			
	減価償却累計額	<u>△ 813,966,473</u>	1,721,902,847		
ハ	構 築 物	27,017,601,702			
	減価償却累計額	<u>△ 11,792,470,230</u>	15,225,131,472		
ニ	機 械 及 び 装 置	5,568,232,513			
	減価償却累計額	<u>△ 1,721,105,645</u>	3,847,126,868		
ホ	車 両 運 搬 具	27,086,517			
	減価償却累計額	<u>△ 18,581,820</u>	8,504,697		
ヘ	工 具 器 具 及 び 備 品	249,468,458			
	減価償却累計額	<u>△ 193,369,250</u>	56,099,208		
ト	建 設 仮 勘 定		<u>785,592,567</u>		
	有形固定資産合計			22,621,133,863	
(2)	無形固定資産				
イ	施 設 利 用 権		557,500,092		
ロ	電 話 加 入 権		912,825		
ハ	ダ ム 使 用 権		<u>6,444,201,540</u>		
	無形固定資産合計			<u>7,002,614,457</u>	
	固定資産合計				29,623,748,320
2	流 動 資 産				
(1)	現 金 預 金			2,671,096,893	
(2)	未 収 金				
イ	営 業 未 収 金		25,354,041		
ロ	営 業 外 未 収 金		3,511,599		
ハ	そ の 他 未 収 金		106,076,883		
	貸 倒 引 当 金		<u>△ 9,165,310</u>	125,777,213	
(3)	貯 蔵 品				
イ	材 料		25,830,427		
ロ	貯 蔵 量 水 器		<u>5,242,354</u>	31,072,781	
(4)	前 払 費 用			<u>3,088,580</u>	
	流動資産合計				<u>2,831,035,467</u>
	資 産 合 計				<u>32,454,783,787</u>

		負債の部		
		円	円	円
3	固定負債			
	(1) 企業債		12,718,813,752	
	(2) 引当金			
	イ 特別修繕引当金	628,082,370	628,082,370	
	(3) その他固定負債			
	イ 年賦未払金	4,511,994	4,511,994	
	固定負債合計			13,351,408,116
4	流動負債			
	(1) 企業債		678,197,099	
	(2) 未払金			
	イ 営業未払金	52,641,801		
	ロ 営業外未払金	72,151,111		
	ハ その他未払金	84,357,383	209,150,295	
	(3) 前受金			
	イ 営業前受金	67,320	67,320	
	(4) 引当金			
	イ 賞与引当金	18,894,000	18,894,000	
	(5) その他流動負債			
	イ 預り金	73,134,200	73,134,200	
	流動負債合計			979,442,914
5	繰延収益			
	長期前受金		14,311,654,501	
	収益化累計額		△ 7,031,056,302	
	繰延収益合計			7,280,598,199
	負債合計			<u>21,611,449,229</u>

		資本の部		
6	資本金			
	(1) 自己資本金			
	イ 固有資本金	1,039,636,878		
	ロ 組入資本金	7,890,119,740		
	ハ 出資金	1,594,595,638	10,524,352,256	
	資本金合計			10,524,352,256
7	剰余金			
	(1) 資本剰余金			
	イ 受贈財産評価額	33,728,166		
	ロ その他資本剰余金	27,492,903		
	資本剰余金合計		61,221,069	
	(2) 利益剰余金			
	イ 当年度未処分利益剰余金	257,761,233		
	利益剰余金合計		257,761,233	
	剰余金合計			318,982,302
	資本合計			<u>10,843,334,558</u>
	負債資本合計			<u>32,454,783,787</u>

(6) 決算に関する注記

1 重要な会計方針に関する注記

(1) たな卸資産の評価方法

イ たな卸資産の評価方法は先入先出法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産の償却方法は、定額法（ただし、量水器は取替法）を採用している。

ロ 無形固定資産の償却方法は定額法を採用している。

(3) 引当金の計上方法

イ 退職給付引当金

本市では退職手当組合に加入しており、水道事業会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、追加的負担は全額一般会計において措置するため、水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

ロ 賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当及び共済組合負担金の支給に備えるため、令和2年度末における支給見込額に基づき、令和2年度の負担に属する額を計上している。

ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権について貸倒実績率により、回収不能見込額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理

イ 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2 貸借対照表等に関する注記

(1) 後年度において、一般会計等が負担する企業債等の償還に関する事項

イ 貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）及びその他固定負債のうち、一般会計等が負担すると見込まれる額は、1,615,778千円である。

3 セグメント情報の開示

(1) 報告セグメントの概要

四国中央市水道事業会計では、料金設定の異なる地域毎の報告セグメントとしている。

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

令和2年度（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

（単位：円）

区分	水道事業		簡易水道事業	合計
	三島川之江地域	土居地域	新宮地域	
営業収益	1,607,773,350	186,791,191	12,537,809	1,807,102,350
営業費用	1,569,142,939	230,640,733	66,372,956	1,866,156,628
営業損益	38,630,411	△43,849,542	△53,835,147	△59,054,278
経常損益	161,616,916	10,848,500	△34,941,017	137,524,399
セグメント資産	26,723,791,047	4,918,297,618	812,695,122	32,454,783,787
セグメント負債	16,964,987,435	4,028,354,855	618,106,939	21,611,449,229
その他の項目				
減価償却費	885,763,341	147,265,768	50,113,959	1,083,143,068
他会計負担金	196,938,998	98,896,089	47,241,513	343,076,600
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	611,729,195	207,848,242	6,005,000	825,582,437

4 その他の注記

(1) 特別修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

(2) 簡易水道事業の統合

令和2年度より、簡易水道事業会計及び簡易水道事業特別会計の資産、負債をすべて引き継いで、財務諸表等を作成している。